

プレスリリース [2019年8月15日]

(計2枚)

町田市立学校適正規模・適正配置等審議会を設置 ～学校統廃合を含めた通学区域の見直しを開始します～

2018年度に教育委員会で行った児童・生徒数推計では、2019年度から2040年度までの間に市立小学校の児童が約30%、市立中学校の生徒が約33%減少することが見込まれています。また、学校施設の老朽化も進んでおり、市立小・中学校（以下「市立学校」）62校のうち、2045年度までに55校の校舎が耐用年数の築60年を迎えます。

児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化を契機として、市立学校のより良い教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するため、8月27日に「町田市立学校適正規模・適正配置等審議会（以下「審議会」）」を設置し、学校統廃合を含めた通学区域の見直しなどについて検討を開始します。

■ 主な検討内容

- ・市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方
良好な教育活動を行うことができる適正な1学年あたりの学級数や、その学級数を実現するうえでの適正な学校配置の考え方（例:適正な通学時間・距離）などを検討します。
- ・市立学校の適正規模・適正配置の具体的方策及び通学区域の編成
市立学校の適正規模・適正配置を実現する方法と、その方法を踏まえた通学区域の見直し案について学校統廃合を含めて検討します。
- ・市立学校の学校施設機能の基本的な考え方
市立学校における将来の教育活動・放課後活動・地域活動を見据えた必要な学校施設機能の基本的な考え方を検討します。

■ 第1回審議会

- ・開催日時：8月27日 午後3時～5時
- ・開催場所：市庁舎2階 市民協働おうえんルーム
※ 傍聴希望の方は、直接会場までお越しください。
- ・主な内容（予定）
 - 市長あいさつ
 - 委員委嘱
 - 審議会へ諮問
 - 教育長あいさつ
 - 適正規模・適正配置の検討に必要な現状と課題の共有

■ 今後のスケジュール（予定）

2019 年度	審議会で市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方を検討 ※ 6 回検討し、2020 年 1 月頃の答申を予定
2020 年度 ～2021 年度	審議会で下記の内容を検討 ・市立学校の適正規模・適正配置の具体的方策及び通学区域の編成 ・市立学校の学校施設機能の基本的な考え方 ※ 2021 年 4 月頃の答申を予定
2021 年 6 月	教育委員会で「(仮称)町田市立学校適正規模・適正配置実行計画」を策定

■ 本件に関するお問い合わせ先

学校教育部教育総務課 課長 田中 TEL 042-724-2172